

平成27年度都市システム工学科教員・学生懇談会 議事録

日時：平成28年2月23日 15:00-

場所：S2棟3F会議室

参加者：

教員 小林教授，平田准教授，一ノ瀬助教

学生 学部2～4年 6名， M1～M2 8名 計 14名 (名簿は非公開)

コメント：

(1)授業，カリキュラム

- ✓ 大学院講義（構造工学特論）の時間の変更が多い。急に言われても対応できない場合があり，出られなかったことが成績にも反映されていると思われる。（授業料を払っているのに）講義時間が短時間（20分程度）の日もあった。
- ✓ 測量学実習を非常に寒い日に行ったため，後日数名が風邪をひいた。
- ✓ 学生実験で，地盤の透水試験の装置が古く，装置が完備されていないので，標準的な実験もできていないのがかわいそう（TAとしての意見）
- ✓ 設計演習Ⅱのタンク設計が，振動工学を受講していないと内容が理解できず，ほとんどの学生が作業になってしまっている。班分けにも配慮して欲しい。
- ✓ 選択必修が少ない。単位を落とした場合に対応が難しい？
- ✓ 大学院クオータ制については，第2Qが忙しかった。前期に取りすぎてしまうこと，第1Qの課題が残ることがある，学会の〆切等と重なる，などの要因があるが，学生側の授業の選択の仕方の問題もあるかもしれない。
- ✓ 大学院講義で現地調査などの課題があるとクオータでは短い。いいところで終わってしまう。授業によってはセメスターにすると良いと思う。
- ✓ JABEEの要件を満たしているか学生個人で確認しないといけないが，計算ミスが怖い。通常の授業単位のように学部や学科でも点検・確認ができないものか。
- ✓ いつも特定の学生の近くに行って講義を行う先生がいるが，嫌がる学生もいる。
- ✓ 授業中に不必要な心無い発言がある。誤解を招くことがある。
- ✓ 大学院進学に関する特別講義は，学部卒はあり得ないという極端すぎる感もあった。

(2)研究指導

- ✓ 卒業研究など大学にもっと来て指導して欲しい。
- ✓ 実験スペースの使用で教員間で争い，学生を巻き込むのは止めてほしい。
- ✓ 卒論，修論のスケジュールやフォーマットなどの案内が遅すぎる（特に今年度）。
- ✓ 特定の学生に対して研究指導を超えた行き過ぎた指導がされていたので止めてほしい。こういったことを相談できる窓口が決められていると良いと思う。
- ✓ 卒論，修論を専攻長等が毎年確認し，修正指導されるときがあるが，標準的に守るべきことがあれば事前に指導して欲しいし，書き方の指導が毎年専攻長によって変わるのが困る。体裁などは，事前にアナウンスして頂ければ対応しやすい。
- ✓ M2の秋季中間発表は必要がない。やるのであればタイミングをもっと早くした方が，意見を論文に反映できる。

(3)その他

- ✓ 就職情報が学生に転送されるのが遅く，既に終了しているときがある。改善して欲しい。
- ✓

以上